

**製品名: Ras-GRF1 (リン酸化 Ser916) ウサギポリクローナル抗体**

**カタログ番号: APRab05350**

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	

## 抗原情報

遺伝子名	RASGRF1
別名	RASGRF1; CDC25; GNRP; GRF1; Ras-specific guanine nucleotide-releasing factor 1; Ras-GRF1; Guanine nucleotide-releasing protein; GNRP; Ras-specific nucleotide exchange factor CDC25
遺伝子 ID	192213.0
SwissProt ID	P28818
免疫原	抗血清は、マウス Ras-GRF1 の Ser916 リン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。 アミノ酸範囲: 882-931

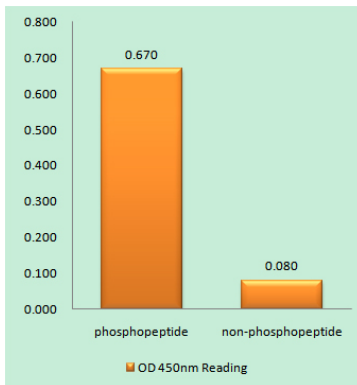
## 背景

RASGRF1 (Ras タンパク質特異的グアニンヌクレオチド放出因子 1) はタンパク質コード遺伝子です。RASGRF1 に関連する疾患には、出血性疾患、血小板型糖尿病、屈折異常などがあります。関連パスウェイには、GPCR シグナル伝達と免疫系があります。この遺伝子に関連する GO アノテーションには、グアニルヌクレオチド交換因子活性と Ras グアニルヌクレオチド交換因子活性があります。この遺伝子の重要なパラログは RALGDS です。RALGDS は、Ras に結合した GDP と GTP の交換を促進します。

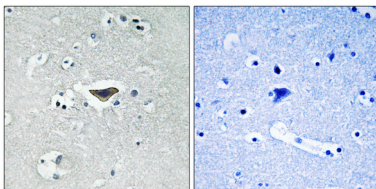
## 研究分野

MAPK

## 画像データ



Ras-GRF1 (リン酸化 Ser916) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定 (リン酸化 ELISA)



Ras-GRF1 (リン酸化 Ser916) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。